

☆基本は地図

地理も歴史も、いつ、どこで、だれが……というのが必ずつきまとってきます。
特に、地理の勉強では、「どこ」なのかをまず知っていないと考えを深めることができません。
さあ、世界地図を何も見ないで描けるように挑戦してみよう！！
できるだけ、ひと筆で描くように心がけてください。

Step 1. アフリカ大陸を描いてみよう (難易度 1)

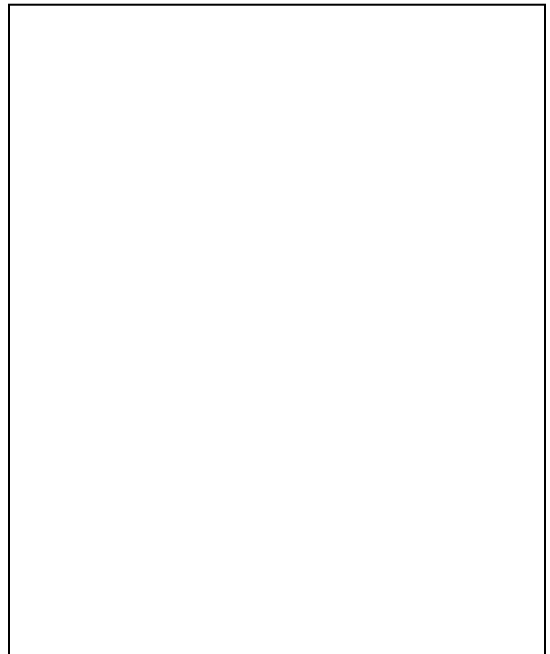
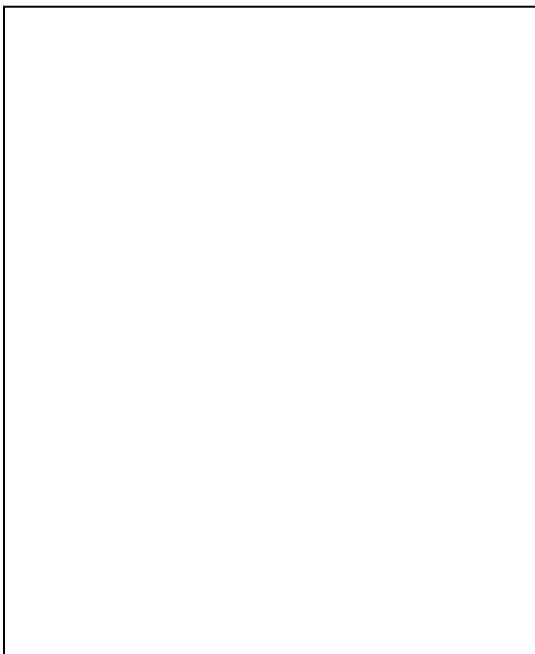
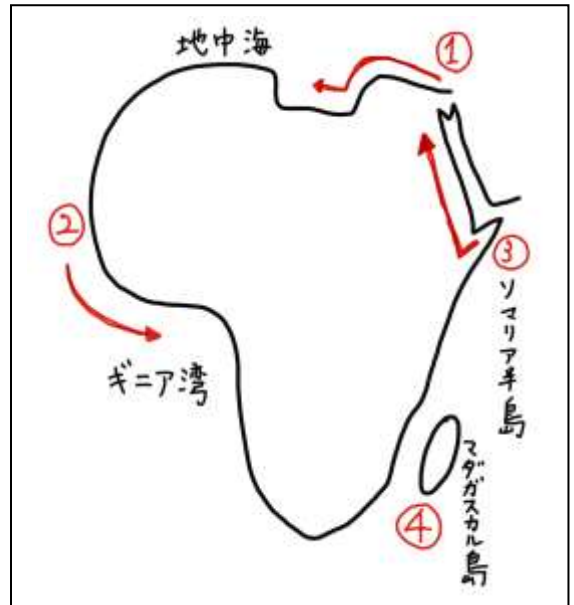
①まず、ユーラシア大陸との境目から描きます。
地中海沿岸の凹凸を描きます。へこませた後、再びふくらませたところから、楕円を四分の一描きます。ちょうどこのあたりがセネガルという国になります。

②そのまま続けて楕円をまた四分の一描き、先に地中海沿岸でふくらませたところの延長線の上にさしかかる直前に、直角ぎみに曲がって下へおろします。南端の喜望峰を作ったら、Uターンし、マダガスカル島を沖に置くことを想定して少しくぼませながら、斜め上に線を続けます。

③②とほぼ同じくらいのところで「アフリカの角」をつくります。これがソマリア半島です。角をつくったら紅海を足の長〜い「M」を描くつもりで描きます。上の逆三角がシナイ半島です。

アラビア半島をつくりかけたら完成です。

<下に練習してみよう>



☆基本は地図Ⅱ

Step 2. 北アメリカ・南アメリカ大陸を描いてみよう (難易度 2)

①アラスカから描きます。そのまま下へおろしてカリフォルニア半島をつくります。右斜め下にずっと下ろして南アメリカの直前まで描きます。

②大西洋側は下から上へ描きます。大まかな特徴をとらえます。ユカタン半島、メキシコ湾、フロリダ半島とリズミカルに(?)筆を運びます。

③セントローレンス湾でこころもち筆を止める感じにすると形がとりやすいです。ラブラドル半島を少し大きめに描き、ハドソン湾を思い切ってつくります。もとの位置「①」に戻って、

④五大湖をつくって北アメリカのできあがりです。次に、「①」の終点から、

⑤南アメリカの太平洋側を描きます。ゆったりとした長細いSの字を書くつもりで、最後のカーブを控えてぎみにして伸ばし、南端まで行ったらUターンして右斜め上に

⑥ラプラタ川の河口を少しくぼませる感じにします。そのままつづけてくの字を逆さに書くつもりでブラジルのあたりを⑦アマゾン川の河口まで描きます(またここで少しくぼませる感じにします)。大西洋側の「②」の始まりにつないで、南アメリカ大陸の完成です。2つの川を簡単に描いて、⑧フェゴ島をつけてマゼラン海峡をつくり、西インド諸島を加えればできあがりです。

<下に練習してみよう>

